



INTERVIEW REPORT

オフィスから発信する 企業の想いと世界観

株式会社Sun Asterisk様は「誰もが価値創造に夢中になれる世界」をビジョンに掲げ、
現在4ヶ国、6都市にて2000名以上のエンジニアやクリエイターが在籍する
デジタル・クリエイティブスタジオです。

新規事業・デジタルトランスフォーメーション(DX)・プロダクト開発を成功に導くため、
「クリエイティブ & エンジニアリング」と「タレントプラットフォーム」の、
2つのサービスラインを提供しています。

この度、株式会社Sun Asterisk様のオフィス集約移転プロジェクトを
「SOCIAL INTERIOR | オフィス構築支援」のサービスにて、
プロジェクトマネジメント、家具選定・導入を担当させていただきました。

今回は、プロジェクトを実行するに至った経緯や、ご自身が設計を担当する上で感じたこと、
オフィス移転後の運用や反響を、デザイナー・空間コンサルタントを務める
Marc Ken Ishikawa様にお伺いしました。

“Sun Asterisk”の ブランドを語れるような オフィスが作りたい

大 野: はじめに、集約移転前に抱えていた課題や、移転のきっかけをお伺いできますでしょうか。

Marc様: 弊社は元々両国・神田の2拠点でオフィスを構えていましたが、双方の距離感やアクセスがあまり良くなく、会社の急成長に伴ってオフィスが手狭になっていました。
また、業務内容的にコロナ禍以前からリモートワークを利用する社員も多く、対面のコミュニケーションが少なくなってしまうことも課題として挙げられます。

大 野: オフィスが2拠点であるがゆえの課題をお持ちだったんですね。その課題がきっかけでオフィスの集約が決まったのでしょうか？

Marc様: そうですね。アクセスがよく、広いスペースに社員が一同に集まれるような場所を探していたところ、今の大手町の物件が見つかりました。

大 野: ありがとうございます。
他にも何か課題を感じていた点はあったのでしょうか。

Marc様: 以前のオフィスはSun Asteriskの企業としての色・ブランディングが見えにくかったので、そこを解消したかったというもありますね。

大 野: 移転の計画時点から、次のオフィスでは全面に企業の色を出していこうという方向性が固まっていたんですね。
現在のオフィスの竣工写真を拝見しましたが、確かに Sun Asterisk 様のコーポレートカラーである赤を基調とした内装や、壁面のイラストなどがかなり印象的で、こだわりを感じました。

Marc様: ありがとうございます。
社員に自社のブランドを感じてほしいのはもちろんですが、社外の方がいらっしゃった際にもSun Asteriskがどういう会社なのか、語れるような設計にしたいという想いがありました。



オフィスのいたるところに 感じるこだわりのデザイン

大 野: 弊社のサービスの導入を決めていただいた理由をお伺いできますでしょうか。

Marc様: 今回の移転プロジェクトは、元々飲食店だった地下1階のスペースをスケルトンの状態で借りるというやや特殊な状況だったこともあり、物件の管理者側とのやりとりや交渉がかなり多いプロジェクトでした。
自分一人ではカバーしきれない部分に関して、以前お仕事を一緒させていただいたこともあるソーシャルインテリア様のご担当者にご相談したところ、ぜひお力添えさせてほしいとおっしゃっていただき、依頼させていただきました。
また、移転時に新たな家具を追加したいという意向があったのも理由の1つですね。

大 野: このプロジェクトはMarc様が設計をご担当されたとのことでしたので、それ以外の部分を弊社が担当させていただいたんですね。

Marc様: はい。私自身、デザインに関わる部分の知見はありますが、それ以外のオフィス移転の知識はあまりなかったので、そこをカバーいただけなのは非常に心強かったですね。

大 野: 弊社がお力になれたこと、大変嬉しく思います！
今回ご自身が設計という立場でプロジェクトに関わる中で、こだわったことを教えていただけますでしょうか。

Marc様: 第一に、どのようにしてブランドを感じてもらえるオフィスにするかということ。
コーポレートカラーである赤を基調とした内装や、社内デザイナーがデザインした壁面のイラストなどがその一例です。
あとは地下・無窓居室の閉塞感をあまり感じさせないように、照明には非常にこだわりました。
オープンスペースや共用部は時間の経過とともに照明の色が変わるので、時計を見ずともだいたい何時くらいかわかるようになっていました。

大 野: 弊社の担当者からも無窓居室をどうするかというのは大きなポイントだったと伺っておりました。

外にいるのと同じような光を感じることでできる照明、とても素敵ですね。

廊下のプロジェクションマッピングも、こだわりが感じられるゾーンに感じました。

Marc様: そうですね！過去に導入したことがなかったので悩んだ部分でもありましたが、ソーシャルインテリア様にもご協力いただきながら、うまく設置することができました。廊下の突き当りを鏡にして奥行きを出すことで、壁面のプロジェクションマッピングを見てもらいやすいようにしているのもポイントです。

大 野: そのようなデザインの意図があったんですね...！画像を拝見しましたが、本当に長い通路のように感じたので、奥行き感が出てプロジェクションマッピングが映えて見えました。

Marc様: ありがとうございます。
準備や施工は大変でしたが、こだわってよかった部分です。

大 野: 弊社の提案やプロジェクトの進行でよかった部分などありましたら、教えていただけますでしょうか。

Marc様: まずは、都度状況にあわせて柔軟に動いていただいたところですね。
今回、ソーシャルインテリア様にはプロジェクトの途中から入っていただいたのですが、PMとして中心に立ってプロジェクトを進行していただいたのでとても助かりました。
また、こちらの曖昧な表現を汲み取って、空間のイメージにあった家具を提案いただきました。クッションや椅子の座面のカラーを変更するなど、細かい部分も臨機応変に対応いただけただけで、より素敵な空間になったと思っています。



会社と社員を理解している からこそ叶った課題解決

大 野: 移転後の効果や反響について教えていただけますでしょうか。

Marc様: 意図的にイベントを行えるような広いスペースを設けたり、バーを設置したりしたことで社員のコミュニケーションはかなり活性化しているように感じます。

大 野: ロゴが入った赤いバーカウンターはかなり印象的でした。お酒を飲みながら気軽に会話したり、社内イベントで社員の方が集まったりしたときに生まれる一体感は、オフラインならではの魅力ですよね。

Marc様: オープンスペースでゲーム大会が行われたり、お客様を招いて懇親会を行ったりするなど、以前よりかなり有効的にオフィスが使われています。また、リクルーティングや、営業的な部分にもプラスに働いているように思います。あとは、オフィスのなかでブランドを語る部分を増やしたことで、今までよりもお客様をオフィスに招いて会社を案内する機会が増えていますね。

大 野: そのような反響があるのはとても嬉しいですね。Marc様のように会社のコンセプトや課題を熟知している方が、設計として携わっているからこそその効果だと感じました。

Marc様: 自分が働いているオフィスなので、はっきりとした意思を持って設計できたのと、各社員の希望をどのようにしてデザインに反映するかも考えて作りこめたのが良かったのかなと思います。素敵なオフィスや家具があっても、実際にそこで働く社員の性質を理解していなければ、誰にも使われていないということもあると思います。

大 野: 確かに、時代にあわせてフリーアドレスや ABW に特化したオフィスをつくったけれど、社員の希望や社風を取り入れずにつくった場合は、実際は会社にフィットしなかったというような話も耳にします。

Marc様: そうですね。弊社の場合、現在も社員が各エリアを有効活用してくれているので、そこはよかったなと思っているポイントです。



プロジェクトの内容や状況 によって選べるサービスの形

大 野: 今後のオフィスの展望がありましたら、お聞かせいただけますでしょうか。

Marc様: 現在のオフィスに関しては、柔軟に稼働できる部分も多いので、そのままうまく使っていただくと考えています。ただ、これから新たな拠点が広がる際は、ソーシャルインテリア様に家具の提案をしていただきたいと思います。

大 野: またお力添えできるタイミングがありましたら、ぜひともご連絡いただけますと幸いです！
最後に、今後のソーシャルインテリアのサービスに期待することをお伺いしてもよろしいでしょうか。

Marc様: 私のような設計の立場から申し上げますと、やはりPMを依頼できるのが非常に魅力的だなと感じます。

あとは、プロジェクトによっては予算が限られている場合もあるので、サブスクを選択することによって初期費用を軽減するなど、利用方法が選べるのがありがたいポイントですね。

大 野: ありがとうございます。

これからもお客様の理想のオフィス構築を実現できるように精進して参ります。

本日は貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします！

まとめ

今回は、株式会社Sun Asterisk デザイナー・空間コンサルタント Marc Ken Ishikawa様にプロジェクトを実行するに至った経緯や、ご自身が設計を担当する上で感じたこと、オフィス移転後の運用や反響を語っていただきました。株式会社Sun Asterisk様は、オフィスの集約移転によって抱えていた課題を解消し、導入後のオフィス環境にご満足いただきました。現在、オフィスづくりに課題を感じているという方はぜひ一度ソーシャルインテリアにご相談ください。

Profile

Sun*

株式会社Sun Asterisk

デザイナー・空間コンサルタント

Marc Ken Ishikawa 様

お気軽にお問い合わせ
合わせください

SOCIAL
INTERIOR | オフィス
構築支援

株式会社ソーシャルインテリア
〒107-0061 東京都港区北青山 2-14-4 the ARGYLE aoyama 5F
| e-mail | is@socialinterior.com | TEL | 03-6417-0465
| URL | <https://socialinterior.com/>

URL QR

